

山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行
山形県保険医協会
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル
電話 023 (642) 2838
FAX 023 (642) 2839

購読料 千円共1ヵ月 500円
印刷 コロニー印刷

第513号

8月夏季特別号 TOPICS

- 2面…歯科 診療報酬改定について
- 3面…今年度の指導情報開示
- 4面…歯科 今年度の指導計画
- 5面…「ハピネスの仕掛け人」講座
- 6面…気になるワインの話

残暑お見舞い

申し上げます

役職員一同



「奇跡の一本松」 撮影 新庄市 小内医院 小内裕先生
2022年4月、陸前高田にある奇跡の一本松を見てきました。自然の生命力に感銘を受けました。

ごあいさつ

理事長 中島 幸裕

残暑お見舞い申し上げます。会員の先生方、いかがお過ごしでしょうか。

今年も地球温暖化の影響が、益々暑くなっているように感じます。一昨年から新型コロナウイルス感染症も一時期落ち着いたかに見えましたが、第7波が発生し、新たにBA・5が世界中を席卷しております。いつまでこの感染症に向き合わなければならないのでしょうか。医療従事者の中からも、新型コロナウイルス感染症を2類相当から5類の感染症分類にすべきとの意見も出始めておりますが、この感染症に対する医療体制は十分に整っているとは言えないのが現状です。保健所機能は脆弱性を露呈し、救える患者を在宅で看取ったなどの重大な結果も招きました。ワクチンが普及したとは言え、まだ3回目までがほとんどです。5類感染症に引き下げるには、内服薬の普及がどうしても不可欠です。ワクチン接種で予防し、感染症が発症したら治療薬を早急に投与し、病気の重症化を防ぎ、後遺症を残さない治療体系ができないければ、医療従事者はインフルエンザ感染症と同程度に立ち向かうことはできないと考えます。

さて、7月10日に参議院選挙が行われました。選挙前の8日には、安倍晋三元首相が凶弾に倒れ、突然命を奪われました。まさに選挙真只中の遊説中のことです。それも白昼堂々、衆人環視の中、道路の真ん中で、まるで畏にはめられたと思うほど全く無防備なシチュエーションです。この犯人の報道を見ていて、7月3日の保団連夏期セミナーで講演いただいた東京大学大学院教育学研究科教授の本田由紀先生を思い浮かべました。私は他のセッションの担当で、残念ながら講演は拝聴できませんでした。先生は「デフレ脱却」を掲げ、「アベノミクス」を推進します。その結果、貧困や格差が蔓延してしまいました。若者目線で見れば、「自己責任」と追い詰められ、頼れる家族や友人もおらず、孤独・孤立の中で日々を過ごす。今回の元首相銃撃事件は、そんな日本の若者が起こしたものと推察すると、犯人ひとりだけの問題では済まされないような気持ちにもなります。

私達保険医は感染症と対峙し、目の前の患者を守り、御自身や御家族、職員の健康にも留意しながら、日々の業務に邁進しなければなりません。皆さん頑張ってください。

はやぶさ2が小惑星から持ち帰った小石から多数の有機物、アミノ酸が発見されました。これらの有機物が水とともに原始地球に降り注ぎ、地球に生命をもたらしたと考えられています。何億年もかけて進化した生命にはこれまで大滅亡に瀕した時期が少なくとも五回はあったとされます。さて現在では名実ともに人類の時代です。現在の人類はホモサピエンスですが、多数の人類が平行して生存していた時期もあったといわれています。それらの人類はどうなったか？我々ホモサピエンスによって滅ぼされたという説が有力です。世界に広がった私たちは人類唯一の種族なのに、なぜ民族主義が広がっているの些細な違いを許容せず戦いに走るのでしょうか。科学を発展させ霊長類と自負するヒト。しかしその前頭葉は感情の脳をコントロール出来ていないようです。他の国々の人々と理性的に仲良く共存しようとせず、自分たちの優越性を競い合い戦う。果たして本当に霊長類なのでしょうか？パピロニアのバベルの塔の伝説を思い出します。天にも届く塔を建て神に近づこうとした人々。あまりに巨大すぎて各層で働く人々の言葉や文化が異なってしまう意思疎通が出来なくなつて塔は大崩壊する。人類自身再び生命の大絶滅を引き起こす原因になるのか、伝説が現実にならぬことを祈るばかりです。(K)



はやぶさ2が小惑星から持ち帰った小石から多数の有機物、アミノ酸が発見されました。